

寄生虫の予防をしましょう



寄生虫には体の表面につくもの(外部寄生虫)と体の中にすみつくもの(内部寄生虫)があります。どちらの寄生虫もワンちゃん健康を害し、中には生死にかかわるものもあります。予防して快適に過ごせるようにしてあげましょう。

A. ノミ



《瓜実条虫を体内に持つノミ》

ワンちゃんを吸血することでかゆみなどの皮膚炎を引き起こすだけでなく、ノミアレルギーやノミの体内に潜む瓜実条虫という腸内寄生虫の原因になります。



《瓜実条虫》

B. ダニ(マダニ)



草むらなどに潜むマダニの幼虫が散歩中にワンちゃんに噛みつき、吸血を繰り返します。皮膚炎のほか、ダニに含まれるバベシア原虫が原因となる重度な貧血を引き起こすことがあります。人も刺されることでSFTS(重症熱性血小板減少症)を引き起こす危険性があります。



C. フィラリア

心臓と心臓から肺へ向かう血管(肺動脈)に寄生する 20 cm以上の細長い虫です。血液の流れを妨げて全身性の循環障害を引き起こし、死に至ることがあります。必ず予防しなくてはならない寄生虫です。詳しくはどうぶつ医療ファイル『フィラリア予防』をご覧ください。

D. 犬回虫・犬鉤虫・犬鞭虫

腸管内に寄生し、下痢や栄養障害を引き起こします。犬回虫は母犬から感染していることが多く、子犬の時期に駆虫しておきたい寄生虫です。



《犬回虫》

E. イヌセンコウヒゼンダニ、イヌニキビダニ

小さなダニが皮膚に潜り込み寄生します。皮膚炎を引き起こし、強いかゆみを伴います。

F. ミミヒゼンダニ

小さなダニが耳の中に寄生し、重度な外耳道炎を引き起こします。

《予防薬には2つのタイプ》

予防薬には皮膚につけるタイプ(スポットオン)と食べるタイプがあります。

つけるタイプはノミとダニ(A,B)に、食べるタイプはノミ、ダニと小さなダニ(E,F)に効果があります。

また、食べるタイプの薬にはフィラリア(C)や犬回虫などのおなかの寄生虫(D)も同時に予防できる便利なものもあります。



★ 定期的な予防薬の使用で、イヤな寄生虫からワンちゃんを守ってあげましょう